

もしも…のために、貼って安心「羽曳野市見守りネットワークシール」

●羽曳野市見守りネットワークシールとは？

…徘徊または徘徊のおそれのある認知症高齢者の、衣服や持ち物などに貼るシールです。(右図参照) 認知症高齢者が徘徊し、その後保護された場合、この QR コードを携帯電話などで読み込むと、メッセージと地域包括支援センターの連絡先が表示されます。



保護された後、スムーズな連絡と身元確認のため、ぜひご利用ください。

[対象者]「羽曳野市徘徊高齢者 SOS ネットワーク(★)」に登録のある方

[配布開始日] 4月1日(金)

[配布数] 1人につき1シート(10枚)

(★)羽曳野市徘徊高齢者SOSネットワークとは…

徘徊中に発見・保護された認知症高齢者本人や、その家族のために。事前の登録で、“もしも”に備えましょう。

[対象者] 市内に在住する 65 歳以上の高齢者で、徘徊行動により行方不明となるおそれのある方。

[申込者] 認知症と診断された高齢者本人か、その4親等以内の親族。

[手続き] 印鑑と写真を持って、地域包括支援課(市役所別館1階)へお越しください。

[受付時間] 9:00 ~ 17:30 (月曜日~金曜日)

※登録有効期間は2年間、偶数年度に更新が必要

…認知症を学び地域で支えよう…

認知症高齢者は、情報の整理があまり得意ではありません。徘徊中に発見・保護された時に、不安や戸惑いなどもあり、普段なら思い出せることが、思い出せないケースがあります。本人確認や、家族などへの連絡を迅速に行い、少しでも早く安心できるよう、必要な情報を登録してください。

◆認知症の人への対応の心得“3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

認知症を理解し、認知症の人や家族を支える「認知症サポーター」を増やし、誰もが暮らしやすいまちに。

～ネットワークの活用について～

●認知症高齢者が行方不明になった際、地域包括支援課から各方面へ本人の情報を提供します。<市役所内、すべての市施設、在宅介護支援センター、介護保険事業所(協力承諾事業所)>

●市内を移動中に徘徊の疑いのある高齢者を見かけたり、また市民から情報が寄せられた場合などにスムーズな本人確認ができ、早期発見につなげるようにするものです。

●希望される場合は、南河内地域の市町村(松原市、藤井寺市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、柏原市)の担当窓口への情報提供もできます。

※積極的な検索活動を行うものではありません。

認知症知っとこ～座(講座)

認知症高齢者グループホームの主催で、教室、相談会を開いています。介護の必要な家族がいる方はもちろん、介護や認知症について興味のある方など、ご参加お待ちしております。お申し込みは、主催者へ直接ご連絡ください。

～認知症を理解し、認知症の人や家族を見守り、安心して暮らせる町づくりを目指して～



主催者	グループホームみやび
日時	3月27日(日) 10:30 ~ 11:30
場所	グループホームみやび 1階テイルーム (西浦 2-1844-1) ※地域かふえみやびの中で実施、 かふえみやびは 10:00 ~ オープン
テーマ	認知症高齢者の対応
申込・問合せ	☎ 950-0382